

小学校4-6年生向け

「たのしく学べるおうち時間」 世界のこと、自分のことを知ろう



◇ どんなことをするの？

1. 絵本を読んでみましょう
2. ワークシートに取り組んでみましょう
 - 動画を見ながら答えてね
 - 情報シートを読んでね



公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
Shanti Volunteer Assoc.

学校で勉強ができることはすごいこと！

世界には、戦争や、まずしさ、地震などの災害で

勉強することができない子どもがたくさんいます。

勉強したくても、住んでいる家の近くに学校がなく

何時間も歩いたり、道がないため、ボートで移動することもあります。

学校があっても、校舎がない、かべがないこともあります。

安心して勉強ができることは、すごいことなのです。



絵本にはこんな役割があるよ



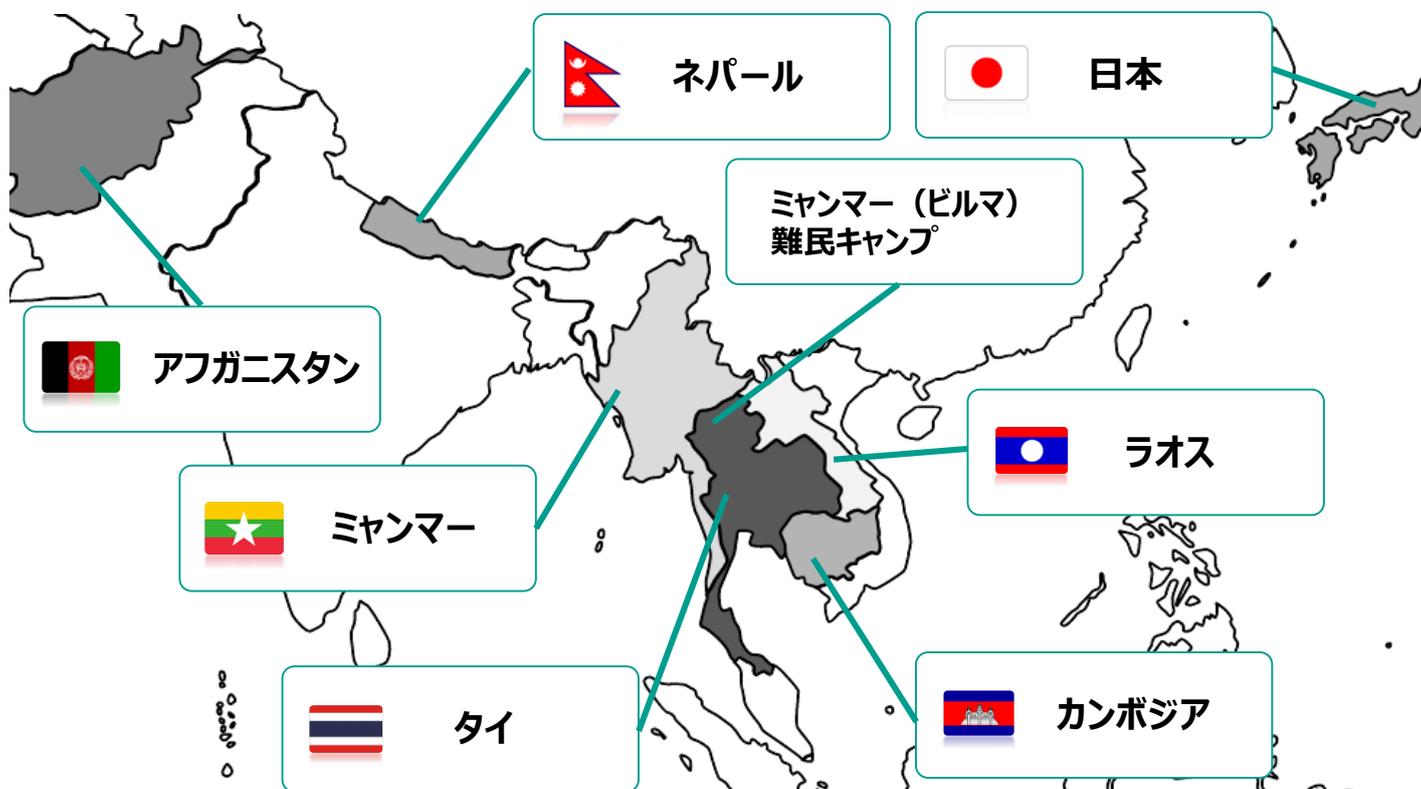
昔の人の考えや歴史を学ぶことができるよ

さみしいとき、悲しいとき、絵本を読んで元気をもらったり、はげましてもらうことができるよ

行ったことがない国のこと、食べたことのない料理のこと、人の暮らし。
世界がどんなに広いのか、知ることができるよ



シャンティはアジアの7つの国と8つの地域で活動しています



シャンティの活動

シャンティ国際ボランティア会は
どんな生活の中でも
ひとりひとりが安心して
勉強できることが大切だと考えて
います。
そのために、40年間、本を届け
たり、学校を作ってきました。



本を届ける
本を作る



学校や
図書館を
作る



先生や図
書館員へ
の授業



世界のこと、難民キャンプのこと

★なんみんキャンプで暮らすトー君のお話

エッ・ブルー・トー君は難民キャンプで暮らす男の子です。毎日小学校に通っています。小学校は朝9時から3時までです。授業が終わると、毎日近くの図書館に行って本を読みます。トー君は、図書館にある本を全部読みたいと思っています。

トー君は難民キャンプで生まれ育ちました。難民キャンプの外には出たことはありません。

トー君が好きな絵本は『ねずみくん おおきくなったら なにになる？』です。トー君はこの絵本からこんなことを思いました。「ねずみ君には夢があるんだ。歯医者さんになって、自分より大きな動物の歯を治すこと。この絵本を読んで、夢は叶うんだって。僕は将来学校の先生になりたいと思ってるよ」。



「ねずみくん おおきくなったらなにになる？」ポプラ社

トー君の動画は
ここから見てね



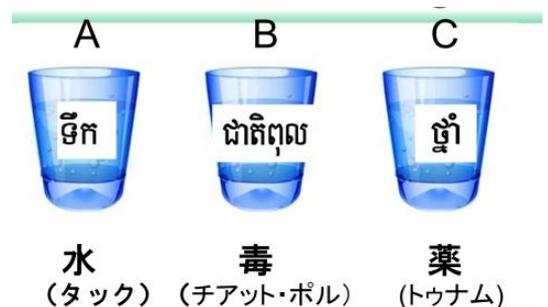
★世界のことを知ろう

世界には5,800万人（12人に1人）の子どもが学校に通っていません。世界には1億4,000万人（5人に1人）の子どもが途中で学校をやめてしまいます

学校に行けないということは、文字を勉強することができないということです。では、文字が読めないと、どんなことに困るでしょうか。

あなたは頭が痛い時、どれを飲みますか。

もし、文字が読めなかったら、どれを飲んでいいかわかりません。



文字が読めないということは、命の危険があるということです。

他にも、どのような困ったことがあるでしょうか。

- 仕事を探すのがむずかしい
- 病気になった時、くすりに書いてある文字が読めないので困る
- 標識や看板が読めないので、行きたい場所に行くことがむずかしい
- 子どもの学校からのプリントが読めないので行事に参加できない

★難民キャンプってどんなところ？

● 難民（なんみん）ってどんな人？

難民とは、自分の命を守るために、安全な国や場所に逃げて暮らしている人たちです

● 難民キャンプって？

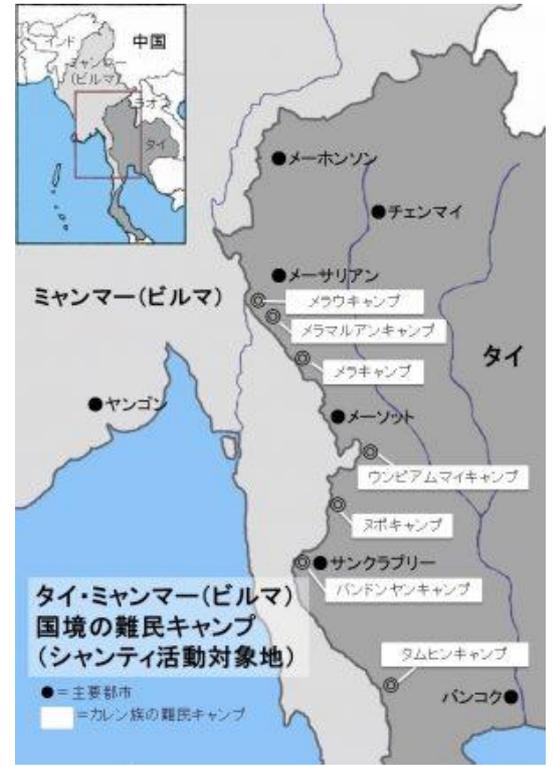
難民たちが集まって暮らしているところ。タイには、ミャンマーとのこっきょう近くに、9つの難民キャンプがあります。ここで暮らしている人は、難民キャンプの外に出ることができない決まりです。

● なんで難民キャンプができたの？

ミャンマーでは長い間、戦争が続いていました。戦争から逃げ、自分の命や家族を守るためにミャンマーからタイににげた人たちが集まって暮らし始めました。

難民キャンプができてから35年以上がたった今でも、約10万人の人が暮らしています。

難民キャンプで生まれて育った子どもたちもたくさんいます。



★食べ物？

● 配給（はいきゅう）

難民キャンプでは食べ物配給されます。お店もあります。

米、大豆、魚のペースト、さとう、かんそうトウガラシ、しお、あぶらなどは配給されます。

肉や野菜を買ってりょう理を作ります。主食はお米です。



©Yoshifumi Kawabata

★どんな暮らし？

● どんな家に住んでいるの？

暑い地域なので、高床式の家で暮らしています。高床式の家は、暑い時は涼しく、雨が多い時期は洪水になっても水が家の中に入りません。

● 電気がない生活

難民キャンプには電気がないので、インターネットやテレビがありません。冷蔵庫や電子レンジもなく、携帯電話もありません。



★学校はどんなかな？

● 難民キャンプの中の学校

難民キャンプにも、ようちえん、小学校、中学校、高校があります。子どもたちは毎日学校に通っています。

● 放課後

学校が終わると、友達と図書館に行って本を読んだり、サッカーを楽しむ子どもいます。

家のお手伝いをする子どもが多く、弟や妹の世話、家で飼っている豚、鶏などの世話、水汲みをします。



★水はどうしている？

● 水道はない

難民キャンプには水道がありません。みんなで使う水くみ場や井戸があります。洗濯は井戸の近くで手で洗います。料理やシャワーなどに使うため、毎日水を汲んで家まで運びます。汲んだ水は、大きな水おけにためて使います。





1. 動画を見たわたしの気持ち：動画が見れない人はトー君のストーリーを読みましょう

1. 自分の気持ちに近いもの3つに○をつけてみよう

(驚いた、すごい、悲しい、複雑だ、自分には関係ない、もっと知りたい、わからない)

2. ○をつけた理由を書いてみよう

.....

.....

2. 動画を見てトー君と自分の生活と比べてみよう：
動画が見れない人はトー君のストーリーを読みましょう

① どこでどのような生活をしていますか

② 学校の様子 ・何時から何時までですか
・わたしの学校とどこが違いますか

トー君	わたし

トー君	わたし

③ 好きな絵本や本はなんですか。
絵本を読んでどんなことを思いましたか。

④ 将来の夢は何ですか

トー君	わたし

トー君	わたし

3. 世界の教育について：情報シートを見ながら考えてみよう

世界では () 人に1人 の子どもが、小学校に通っていません。

世界では () 人に1人 の子どもが、小学校に通うのをとちゅうで やめてしまいます。

★ 文字が読めないとどんなことに困りますか。3つ書いてみましょう

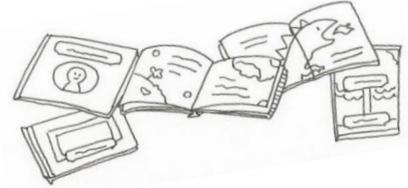
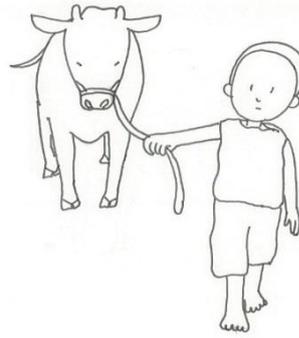
1.

2.

3.

★ 学んだこと・感想

.....



イラスト・きよはら えみこ

写真・川畑嘉文

©シャンティ国際ボランティア会